

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	国家試験演習V		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	406号室
担当教員	石橋 康信、OT教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
作業療法士国家試験合格に向けて、学習してきた基礎医学・臨床医学の知識をベースに作業療法概論・作業療法評価学・作業療法治療学・地域作業療法学について過去10年分の出題問題から傾向をつかみ理解を深めていく						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験96%、態度(出席、授業態度、準備等)4%で評定						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書・参考書: 国試の達人 作業療法編 (アイペック)、国試の達人 臨床医学編 (アイペック)、PT/OT国家試験必修ポイントシリーズ (医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
予習・復習を自主的に進めること。						
《履修に当たっての留意点》						
自己課題分析のため、復習すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書・参考書	事前学習 シラバスを読む。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	作業療法概要について学ぶ。				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	正常動作の分析について学ぶ。				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	運動系・感覚系の評価について学ぶ。				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	発達評価について学ぶ。				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	高次脳機能障害について学ぶ。				

授業の方法		内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	日常生活活動の評価について学ぶ。		
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	作業能力の評価について学ぶ。		
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	職業関連活動の評価について学ぶ。		
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	作業療法治療学について学ぶ。		
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	作業療法治療学について学ぶ。		
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	基本介入手段について学ぶ。		
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	義肢装具学について学ぶ。		
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	義肢装具学について学ぶ。		
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書・参考書	事前学習 必修ポイントを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	自助具・福祉用具について学ぶ。		
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書・参考書	事前学習 第1回から13回までの振り返り。(30分) 事後学習 まとめ学習。(30分)
	各コマにおける授業予定	地域作業療法学について学ぶ。		